



発寒ひかり
保育園だより

2024年
12月号

巻頭言

先月、2・3・4歳児クラスの懇談会があり、お忙しい中沢山の保護者の方に参加していただきました。どのクラスも和気あいあいとした雰囲気で、日頃の悩みや苦勞を出し合い、共有する事が出来た時間であったように感じました。

今年2月に閣議決定された「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）（別紙「概要」資料参照）」というものがあります。その中で、『こども基本法』の理念の実現のために5つのビジョンが整理されました。

②安心と挑戦の循環を通してこどものウェルビーイングを高める↓乳幼児の育ちには『アタッチメント（愛着）』の形成と豊かな『遊びと体験』が不可欠

④保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする↓こどもに最も近い存在をきめ細やかに支援・・・とあります（一部抜粋）。

先日参加した京都大学教授の明和政子先生の講演の中でも、ヒトは「協同養育」により生存・進化してきたのですが、現在の社会状況はそうようにはなっていない事を危惧され、保育園の役割の大切さについて述べられていました。日々、仕事に、家事に、子育てに・・・と奮闘されている保護者の皆さまに少しでも寄り添い、パートナーとして一緒に子育てを担っていただける職員一人ひとりでありたいと思います。

園長 阿部 尚子